



きくがわ 社協だより

No.104
2013年
10月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

ひきこもり・不登校 一人で悩まず、解決の糸口を一緒に考えましょう



家族や支援者の皆さんが集まり、学習会を開催しました

特集として菊川市社会福祉協議会が平成22年度から現在までの「ひきこもり」「不登校」についての取り組みをご報告します。

市民の皆さまも「ひきこもり」の問題について一緒に考え、ご理解いただけたらと思います。

「ひきこもり」は誰にでも起こりうることです。特定の病気でも障害でもありません。

12月にはセミナー開催を予定していますので、ぜひご参加ください。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会

〒439-0019 静岡県菊川市半済1865(プラザけやき内)

☎(0537)35-3724

Fax(0537)35-3202

Eメール info@kiku-syakyou.or.jp

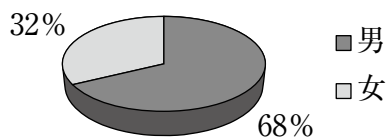


「ひきこもり」問題に 社会福祉施設・団体の 連携での取り組み

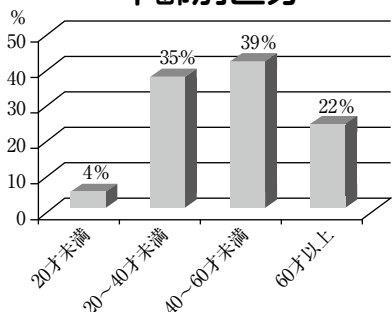
平成22年度
「ひきこもり実態調査」を民生委員に対して
実施

全国でひきこもりの人は内閣府では、推計70万人、厚生労働省では、26万世帯と推計しています。菊川市内では民生委員児童委員へのアンケート（平成22年10月）において、70世帯以上の家庭でひきこもりが発生していることが明らかになりました。※調査結果は「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」によりひきこもりの定義を引用した簡易調査であり、あくまで参考数値です。

男女比



年齢別区分



平成23年度
「菊川市におけるひきこもり問題支援検討委員会」立ち上げ

本会では、平成23年度より「ひきこもり」はその原因状態像及び対応について多様性をもち教育や福祉医療など様々な分野からの支援が求められます。「ひきこもり」支援における基礎的な知識や情報を共有化し、「ひきこもり」の問題を抱える当事者やその家族への具体的な支援方策を検討することを目的として、市内の社会福祉施設の代表者や医療機関関係者等に協力をいただき「菊川市におけるひきこもり問題支援検討委員会」を設置しました。

この委員会は、2年任期で「ひきこもり当事者及び家族への支援方策の検討」や「ひきこもり問題に関する広報啓発に関すること」について協議検討を行うてきました。

その結果、3回のセミナーを開催いたしました。

1回目のセミナーは、平成23年11月5日に「不登校・ひきこもり問題への支援セミナー」と題し、講師には精神科医である岐阜大学医学部准教授 高岡健氏を迎えて開催し、2回目のセミナーは、平成24年3月3日に「不登校・ひきこもり問題への家族支援セミナー」と題し、精神科医で、清泉女学院大学・清泉女学院短期大学学長 吉川武彦氏に講師を



お願いして開催しました。

どちらのセミナーも140名という大勢の方に参加していただいていたことができて、ひきこもり問題への関心の高さを感ずることができました。

3回目のセミナーは平成24年11月24日に開催し、サンフォレスト代表ひきこもり支援相談士の三森重則氏に「ひきこもり支援の実際」と題し実際の事例を通しての講演をいただきました。



平成24年7月

「ひきこもり・不登校無料相談会」を開催

委員会の中で「ひきこもり当事者及び家族への支援方策の検討」をする中で、平成24年7月より相談窓口を地域の様々な社会福祉施設や住民に協力をいただく中で設置することができました。

相談員は、元教育相談員やスクールカウンセラー、看護師、主任児童委員に担っていただいています。

相談件数はこれまでに130件（平成25年8月末現在）寄せられています。

この相談窓口設置には、相談を受けた時に専門相談が必要な場合には、市内の専門機関につなぐことができる体制と、本人が外に出たいという意欲があ

る場合には、市内の社会福祉施設等にボランティア活動や就労体験として受け入れてもらえる体制を構築しています。

この「ひきこもり・不登校無料相談会」を通じて、ひきこもりの相談については、家族の方からの相談が多いことがわかりました。家族の方も色々な不安や悩みを抱えていましたので、本会として次に「家族支援」について検討をしました。

平成24年12月

「家族支援のための学習会」を開催

家族支援について検討の結果、「家族支援のための学習会」を企画し、KHJひきこもり親の会静岡いつぶく会と連携のもと開催をしてきております。この学習会は、ひきこもりに関する基本的な理解と適切な関わりや支援の手段を学ぶことを目的として開催しています。

平成24年度には12月、1月、2月の3回、平成25年度には、7月、8月、9月の3回開催してきました。この学習会から「家族交流事業」を10月31日に予定し、ひきこもり当事者を抱える家族の交流の場として実施したいと思っています。



平成25年度 「菊川市におけるひきこもり問題支援検討委員会」再編

今年度から委員会の再編を行い、委員会に支援の入口の部分を検討する「相談・居場所部会」と支援の出口の部分を検討する「就労支援部会」の2つの部会を設けて支援内容の充実を図っています。

また、委員会に菊川市行政や静岡県行政にも関わっていたながら下記の支援体制構築に向けて協議検討を行っています。



一人で悩まずご相談ください

ひきこもり・不登校の無料相談会

開設日 毎月第1、第3月曜日

(祝日と重なった場合は翌週)

時間 午後1時～午後4時まで

場所 菊川児童館(ブラザげやき内)

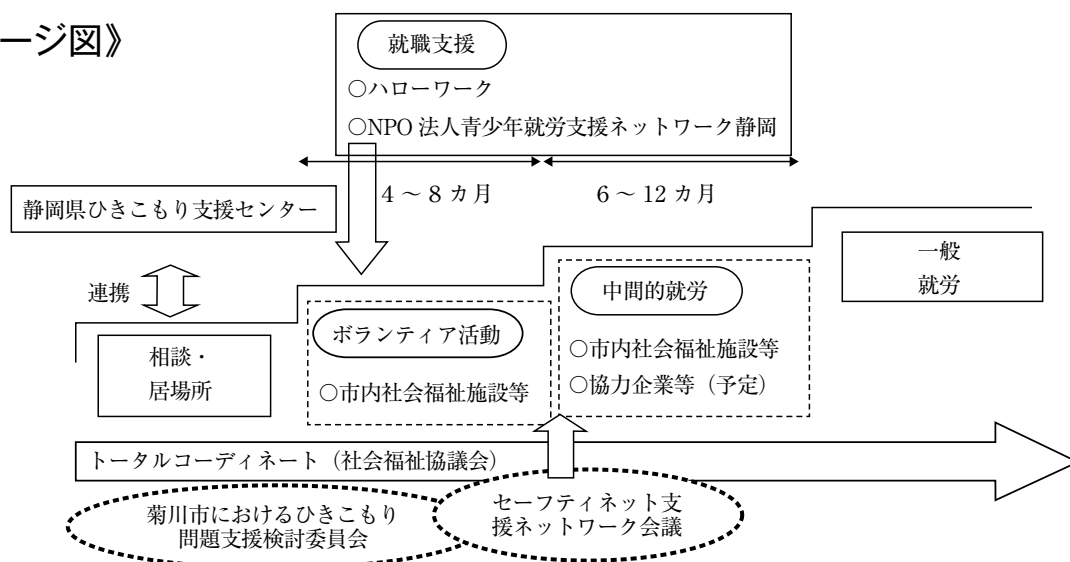
菊川市半済1865

対象 ひきこもりの方の両親・家族・本人

予約専用電話 090-11476-3233

Eメール Soudan@kiku-syakyou.or.jp

《イメージ図》



笑顔、輝いてます ー第27回ー

“畑のじいじ”と呼ばれ地域の皆さんに親しまれています

Q どのような活動をしているのか教えてください。

①神戸、新潟、東日本で震災があった時、家族で被災地へ出向き、少しでもお役にたてるようお手伝いしました。

妻が介護士経験もあり移動美容室もやっているのので、避難所で散髪したり皆さんとおしゃべりする中で、皆さんとのつながりを持つサポートをしています。今でも毎月のように、被災地の方から手紙をいただいたり、つながりを持っています。東日本大震災の時、私たちは主に宮城県気仙沼の大島地区を支援しました。そして被災地へ日用品を送る計画をしました。日用品や学用品等を小笠東地区の皆さんに協力して集めていただき、それを段ボール箱に入れて被災地へ持って行きました。そこで私たちは大島の皆さんとのつながりをもつため、直接皆さんの顔を見ながら物を手渡すようにしました。地域一人ひとりと顔見知りになりつながりも深まりました。

②私は大工仕事も好きなので、自宅南側の空き地に地域の高齢者が集まる『赤土サロン』を造りました。

皆さんは“なかよしクラブ”と呼んでいます。もう5年くらいになりますが、午後から夕方まで毎日のように地域の高齢者が楽しみに来てくれます。震災の時は、何かできる事はないかと相談して、お手玉やティッシュ入れ等を皆さんがたくさん作り、それを私たちが被災地へ届けました。

高齢者が買い物に行きたい時は電話を掛けてきてくれるので、ボランティアで送迎しています。自然体でやっていますが、高齢者の皆さんが遠慮なく言ってくれるので嬉しいですね。

③外国人とも交流しています。

言葉はいりません。笑顔で会釈していれば自然に心が通じ合えます。自宅を開放しているので地域や外国人の皆さんが出入りしコミュニケーションをとるようにしています。



Q 趣味や楽しみなことは何ですか

趣味はたくさんあります。何でも興味をもってしまいます。今は、押し花やマンガの絵を描いたり、工作を楽しみながらやっています。押し花やマンガの絵を家に飾っておくとほしい人が持っていくます。

夏休みの工作を教えてほしいと来た子どもがいたので、ヒントをだしたりして見守ることも楽しみなことです。

Q これからの目標、やってみたいことがあったら教えてください。

大きなことはできませんが、地域へのお返しの気持ちを込めてボランティアをやっていきたいです。例えば道端のゴミ拾いをしたり奉仕活動などを、自分にできそうなことから少しずつやっていきたいと思っています。

うちやま き よ し
内山喜代治さん（赤土下）



特別養護老人ホーム 千寿の園

JR菊川駅から南へ徒歩5分、菊川市役所向いに位置した4階建ての老人ホームです。駅の近くで、街の真中にあるという利便性の高さから、ご家族を始めとした面会者がたくさん訪れてくださり、近隣の皆様にもご利用いただいています。

当施設は昭和59年4月に開設し、その後増床を重ね、現在の定員は老人ホームが70名、短期間ご利用の方のショートステイが10名の計80名です。また居宅介護支援事業所を併設しており、在宅介護支援も行っています。

部屋は1室2～4床の多床室型ですが、ご利用者に寄り添った個別支援を目指し、小グループ制で生活しています。家庭的な雰囲気を大切に、家族・地域・施設の結びつきを深めながらご利用者の生活を支援しています。



千寿の園

基本理念

- I 『利用者・家族・職員の誰もが安心して生活できる「場」であること』
- II 『自分の家族、自分が入居してもいいなと思えるケアを創ること』

平成25年度より、全国老人福祉施設協議会が主催する「介護力向上講習会」に参加し、水分摂取や歩行訓練等の科学的根拠に基づいた自力排泄（オムツでなく便器で排泄ができるようになる）への取り組みを実施しております。



平成25年度敬老祝賀会

多くのご家族、ご来賓にご出席頂き100歳を迎えられたご利用者に国・県からの表彰をさせて頂きました。



書道クラブの活動風景

ボランティアの先生に定期的に指導して頂いています。

カラオケボランティア、傾聴お話ボランティア等、多くの方々に定期的にお越し頂いています。

検証 「災害ボランティア支援本部」 立上げ訓練

8月30日（金）と31日（土）の2日間にかけて、菊川災害ボランティアコーディネーター「菊ボコ」の皆さんと協働し、災害ボランティア支援本部の立上げ訓練をプラザけやきで実施しました。

訓練には市内ボランティアなど総勢140余名のご参加をいただきました。ご協力ありがとうございました。

当日は福祉施設などから13件の被災ニーズが出され、70名の県外ボランティア想定者を実際に派遣しました。その中から、本部機能の簡素化やシンプルな流れを作るといった課題が挙げられました。

なお、大規模災害時に県外からの災害ボランティアを支援する「菊川災害ボランティアコーディネーター（菊ボコ）」が会員を随時募集しています。お気軽に社会福祉協議会（☎35-3724）までお問い合わせください。



災害ボランティア支援本部運営場面



本訓練及び運営についての概要説明場面

（写真撮影：デジカメボランティア「おっ撮りカメラ」）

第7回 菊川市身体障害者スポーツ大会

9月7日（土）菊川市民総合体育館において開催されました。競技種目として、フライングディスク、ボール手送り、輪投げ、パン食い競争の4種目を、身体障害者福祉会会員約106名と、草笛の会の皆さんが、競技しました。

この大会開催にあたっては、菊川市民生委員・児童委員協議会 障がい者福祉部の皆様をはじめ、多くの皆様の御協力のもと、皆さんの日頃の練習成果と持てる力を思い切り発揮して、競技を楽しみました。



フライングディスク



パン食い競争

（写真撮影：デジカメボランティア「おっ撮りカメラ」）

ふれあい・いきいきサロン交流会

9月21日（土）プラザけやきにおいて、日頃、市内の各地域において、高齢者、子育て世代のお母さん方等を対象とした、ふれあい・いきいきサロン（居場所づくり）交流会を実施しました。交流会前半は、居場所づくり研究所の田井中正志先生をお迎えして、サロン運営にかかせないレクリエーションの講習会を受講していただきました。

また、交流会後半は、参加者からあげられた、サロン運営上の大きな課題である、「男性参加者」と「サロン運営の担い手」をどう増やすかというテーマにグループ懇談を実施しました。参加者からは、「時間が短い！」と、うれしい御要望をいただける懇談会となりました。参加されたみなさまの各地域での御活躍と市内で広くふれあい・いきいきサロンが開催されますことを期待いたします。



老人クラブゲートボール大会

9月26日（木）菊川市棚草運動場において、第36回菊川市老人クラブ連合会ゲートボール大会が開催されました。今回の大会は、菊川市老人クラブ連合会会員とゲートボール協会の方々にも呼びかけをして、参加者を募りました。参加者は、応援を含め65名で、参加者の中には、90歳以上の方が5名いらっしゃいました。とてもお元気な様子で、試合を楽しんでいました。

試合結果優勝チームは、球友会でした。

とても暑い中での試合でしたが、試合を通じて、お互いの親睦を深めながら交流ができた一日でした。



ボランティアの広場

ボランティアの輪・和・話(三つの“わ”)

「菊川要約筆記たんぽぽ」

聞こえに不自由な方は、耳から情報が入りにくいため、文字情報が頼りです。2011年3月の災害時には、お弁当配付の放送が聞こえず食事ができなかった人もいたそうです。

私たちは、耳が聞こえにくい方（難聴者）や、病気や事故で聞こえなくなった方（中途失聴者）のために、話の内容を、その場で文字にして伝える「要約筆記」という活動をしています。サークルでは難聴者との会話は、すべて文字で書いています。聞こえに不自由している方、要約筆記をやりたい方は気軽にお出かけください。

皆さん！ 聞こえなくて困っている人には書いて伝えてください。

皆さんが紙とペンでコミュニケーションを取ってくだされば、難聴者や中途失聴者は安心して生活できます。

「菊川要約筆記たんぽぽ定例会」

日 時 毎月第2月曜日 13:00～15:30

祭日と重なった場合は変更あり

場 所 プラザけやき内

問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385



ボランティアの紹介

ボランティアセンターに登録をしてボランティア活動をされている皆さんを紹介します。

- ◆ボランティアグループ 46団体 約900名
高齢者分野・障がい者分野・子ども分野・環境分野・災害分野・趣味を生かした分野 等
- ◆施設などへの訪問ボランティア 5個人 18団体 113名
楽器演奏・歌・ダンス・手作り作品 等
- ◆個人ボランティア 70名
イベント補助・施設訪問・環境美化 等

その他、教育委員会が窓口の学校支援ボランティアや社協地域サポーターの皆さん、ボランティアセンターに登録をしていない個人や団体など、市内にはボランティア活動をされている方たちが、まだまだたくさんいらっしゃいます。

ボランティア活動してみたい方、またボランティアを依頼したい方は、ボランティアセンターまでご連絡ください。お待ちしております。

福祉体験出前講座のご案内

講話や体験をとおして、地域の皆様に福祉や障がいの理解を深めていただければと思います。

内 容 講話・体験

「点字について」「音訳について」「視覚障がい者サポートについて」「要約筆記について」
「聴覚障がいについて」「やさしい町づくり・車いすサポートについて」

実施期間 平成26年3月31日まで

時 間 1回2時間（年度において1団体1回まで）

平日9:30～17:00（講師との調整が可能であれば、夜間・土日の対応可）

会 場 地区センター、自治会公会堂 等（申込者側で会場の手配をお願いします。）

講 師 市内ボランティアグループ、障がい当事者 等

対 象 自治会、コミュニティ協議会、団体 等

10名以上

問合せ・申込先 ボランティアセンター ☎35-6385 FAX 35-3202

求むボランティアさん

問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385

軽費老人ホーム 和松園

活動内容 「お楽しみ教室」 答え合わせや縫い物のお手伝い
「おたっしゃ教室」レクリエーション補助

活動日時 毎週木曜日 14:00～15:30

募集対象 一般、学生（小学4年生以上）

和松会デイサービスセンター

活動内容 草取りや園内の窓拭き、食事介助、話し相手、手芸・工作補助

活動日時 事前連絡で調整します

募集対象 一般、学生（小学5年生以上）

歳末たすけあい募金配分金事業の御案内

目的

歳末たすけあい運動の理念に基づき、新たな年を迎える時期に、援助や支援を必要とする人たちを地域で安心して暮らすことができるようにすることを目的とします。

対象者

菊川市に居住し、世帯全員が住民税非課税世帯で、次のいずれかの要件に該当する世帯。

- 1 満18歳未満の子どものいる世帯で、児童扶養手当の全額受給世帯
- 2 次の手帳を取得している障がい児・者のいる世帯（在宅に限る）
 - （1）身体障害者手帳1級または2級
 - （2）療育手帳AまたはB
 - （3）精神障害者保健手帳1級または2級
- 3 要介護4または要介護5の要介護認定者を自宅で介護している世帯
- 4 満65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯で、経済的支援を必要とする世帯
- 5 著しく生活にお困りの世帯（生活保護世帯を除く）

申請書配布場所

- 1 プラザけやき 社会福祉協議会窓口
- 2 市役所小笠支所1階

上記対象者にあてはまり、配分を受けたい方は上記配布場所に置いてある『歳末たすけあい募金配分金利用申請書』に必要事項を記入し、下記のいずれかにおいて申請して下さい。

提出方法

- 1 社会福祉協議会窓口へ提出
- 2 民生委員・児童委員を通じて提出
- 3 郵送にて提出

受付期間

10月15日（火）～11月12日（火）

問合せ

菊川市社会福祉協議会 地域福祉係 ☎ 35-3724



相談窓口

福祉総合相談

日時 月～金曜日 8:15～17:00

心配ごと相談

日時 11月 1日(金) 9:00～12:00

11月15日(金) 13:00～16:00

会場 プラザけやき

日時 11月 5日(火) 13:00～16:00

11月20日(水) 9:00～12:00

会場 菊川市役所 小笠支所

結婚相談

日時 11月 1日(金) 18:00～21:00
(受付20:00まで) 女性のための相談日

11月17日(日) 9:00～12:00
(受付11:00まで)

会場 プラザけやき

※初めての方は写真と印鑑をご持参ください。

ひきこもり、不登校無料相談会

日時 11月11日(月)・18日(月)
13:00～16:00

会場 菊川児童館(プラザけやき2階)

予約電話 090-1476-3233